

529 Tc-99m-HMPAO標識白血球による炎症イメージングの試み

宇野公一¹、今関恵子¹、古川京燦¹、有水昇¹、井上駿一²、植松貞夫³、北方勇輔⁴（千葉大学放射線科¹、同整形外科²、同放射線部³、君津中央病院外科⁴）

Tc-99m-hexamethylpropylene-amineoxime(HMPAO)は脳局所血流イメージング剤として開発された(Amersham International plc.)。この物質は脂溶性で白血球に標識が可能であると報告された。本研究はTc-99m-HMPAOによる炎症イメージングがIn-111標識白血球イメージングよりすぐれているかどうか評価する目的で行われた。

白血球標識方法はInと同様の我々の方法で白血球を分離し、400MBq Tc-99m-HMPAOで標識した。標識率は30～60%であった。撮像は静注後3時間で行った。

体内分布はInと同様、網内系にみられ、良好な炎症巣のイメージが得られた。しかし本法は尿路系への排泄がみられ、この領域の炎症診断には、不適とみなされた。